

商青連だより

S.61.2.25

発行 全国商工会議所青年部連合会 ☎(03)283-7848 編集 全国商工会議所青年部連合会広報委員会

61年度スローガン

『商工会議所
若さでつくる 新時代』

- ◆青年部設置会議所 252ヶ所
- ◆青年部組織率 52.4%
- ◆商青連加入青年部 162ヶ所

青年部設置率目標五〇%を達成

60年度商青連代表幹事・安部谷次郎



全国の青年部の皆様、一年間色々とお世話様になりました。六十年は二回の全国大会にもかわりませぬ、特に福井での大会は県外登録者数が過去最高を記録できましたことは、青年部の皆様のひたすらお心づかいの賜物と厚くお礼申し上げます。

また青年部の設置率が当初の目標でした五〇%も超えた記念すべき年にもなりました。青年部の位置づけの問題も会議所法の中で明確になるはこびになりましたのも皆様のおかげと感謝いたします。今後、私達青年部は地域づくりや公共の福祉の代表であり、

また青年部の設置率が当初の目標でした五〇%も超えた記念すべき年にもなりました。青年部の位置づけの問題も会議所法の中で明確になるはこびになりましたのも皆様のおかげと感謝いたします。今後、私達青年部は地域づくりや公共の福祉の代表であり、

発刊によせて

日本商工会議所
会頭 五島 昇

全国商工会議所青年部連合会(商青連)が、昭和五十八年四月に発足して以来、青年



部相互の交流の輪が拡がり、さらに各地商工会議所において青年部の設置が進んで参りましたことを大変嬉しく思っているところであります。

部相互の交流の輪が拡がり、さらに各地商工会議所において青年部の設置が進んで参りましたことを大変嬉しく思っているところであります。

り、大衆の意思の代弁者として、自分達の立場を確立していかねばなりません。そして物を売る人間、物を作る人間、活動する人間、成果をあげる人間、民意を統合する人間にならねばなりません。そして地域の全体の利益となるような政策は何か、正しいことは何か、また問題が起こる前に、誰がそれを取り上げて対応に迫られる前に、大事件になればなりません。その上私達は提案者であり、教育者であり、弁護人ではなく、一市民として、父親として、経営者としてそれぞれの家族を守る義務があるからです。

特に重要なことは、自分達の町を誇りにするのと同時に日本人としての誇りを次の世代に受け継ぐ大切な役目があります。確かに四十年前、戦争には負けましたが、負けた世代の人々は戦後の廃墟の中から世界有数の経済立国

をわすれずか数十年の間で築いていただきました。これは世界史を遙かに越える素晴らしい偉業なのです。急ぎすぎたせいかな最近ではいじめ、非行、靖国神社等色々な問題が新聞紙上目につきますが明治、大正、昭和と受けついでた理非曲直の交和を私達一人一人の頭の中にきっちり整理し次の世代に渡す大切な世代なのです。

資源の乏しい我が国が経済立国をめざして今後とも成長発展を遂げるためには、私達三十代、四十代の双肩にかかっているのです。このような気運たかまる時六十二年度商青連代表幹事、中山昌男君をお迎え出来た事は千載一遇の感があります。彼の一歩一歩の歩みが、青年部皆様の若さと英知を結集して輝かしい未来の創造に向けて頑張ってください。最後に青年部、今後ますますの発展と会員各位のご健勝と繁栄をお祈りして私の挨拶といたします。

しかしながら一方、一部の青年部を除き、その歴史は浅く、したがって、青年部に対する社会一般の認識、理解は未だの感があり、今後は青年部の存在と、その活動を広くPRしていくことの必要性を痛感しているところであります。

こうした時に、商青連の皆様が、青年部相互の情報交換を活発にし、交流を深め、その活動の幅を拡げようと、このたび独自の機関紙の発行を企画されましたことは、誠に有意義なことと存じます。この機関紙を通じて、青年部の活動が一層充実され、さらに商青連の組織が拡充されることを切望します。

来年度のスローガン決まる

『商工会議所
若さでつくる 新時代』

61年度商青連代表幹事・中山昌男



ローガンである。ここには青年部として自らの資質の向上を目指すとともに、会員相互の交流を通じて、企業発展と、豊かな地域社会づくりへ貢献して行くとする、抱負と決意が込められているのである。商工会議所の持つ公共性、地域性、総合性、国際性といった優れた特徴を生かしながら本年も進めていきたいと思っております。以下、事業計画について述べてみたい。先ず第一に組織の拡充強化である。現在全国四八一商工会議所のうち二百五十一。全体の五二%である。すべての商工会議所に青年部を設置すべく努力を続けていきたいと思ふ。その外果別の青年部連合会の開催、又ブロック別運営研究会の開催等により、大いに足腰を鍛えた。

第二に研修 研究活動であるが、企業経営とそれを取り巻く環境を勉強することによって、青年部指導者並びに青年経営者の資質の向上を図り併せて、会員相互の親睦と連携を図るため中央研修会を開催するとともに、異業種交流研究会の設置と活動の充実に積極的に取り組んでいきたい。第三には、広報活動の推進である。各青年部間の情報交換を促進し青年部活動の活発化を図るため、また広く一般に押し青年部活動を積極的にPRするとともに、異業種交流研究会の設置と活動の充実に積極的に取り組んでいきたい。我々は決意を新たに自らの歩みを進めようとしていく。商工会議所百年の歴史を受け継ぎながら、新たな時代へ向けて精進したい。関係各位の御指導、御鞭撻を心からお願ひして私の抱負とする次第である。

この様な中であって青年経営者として我々は、何をなすべきかという問題意識こそが我々が商工会議所青年部の活動の原点となるべきであらう。それぞれの企業の経営基盤の安定と収益力向上に全力を尽くすことは勿論、きたるべき新時代に向けて対応する為、大いに相互研鑽を重ねて行かねばならない。

「商工会議所、若さがつくる新時代」これが新年度のス

主な内容

- 2面 第5回全国大会
東北・北海道ブロック大会を終えて
関東ブロック鎌倉大会を開催して
- 3画 東海・近畿ブロック運営研究会を主管して
第5回九州ブロック研究会
- 3面 61年度ブロック運営研究会だより
- 4面 地域経済の主役 活動する青年部活動事例
- 5面 姉妹青年部提携
- 6面 新年度商青連役員の横顔

安部代表・地域を支える担い手の自覚を強調

第五回商議所青年部全国大会福井で開催

「活かせ英知、若さで築こう地域の経済」をスローガンに、第五回商議所青年部全国大会(主催・福井商議所青年部会、昨十一月九日、福井市のフェニックスプラザで開催)、大会では、①組織の拡大と活動の充実。②相互交流と連帯の二点を確認した。

安部代表幹事はあいさつで、「青年部は地域を支える中小企業の時代の担い手であるという自覚を持って、企業の発展、地域づくりのために、会員相互の交流と研さんを図り、その成果を地域社会に還元していきたい。また、この大会を機に異業種間の交流を深め、青年部の若さと英知を結集して、未来の創造、ゼミ後、藤本義一、金田正一両氏が記念講演。

大会を終えて

福井青年部

式典、商青連アワード、記念講演、懇親会。大成功、やつた。事故なく進行できた。全国各地より参加の青年部会員がおめでどう、良かったよ！素晴らしい大会だったよ！の連発に握手をかわれ、さあ、ゆくり一緒に飲もうと声をかけてくれて、張りつめていた身体に伝わる熱さのもの、ある意味の興奮状態になっていた自分。その自分が自らに良かった！と言っているのを感じた。

予定通り到達するに、到着の日にはどのようなドラマを描きながら歩き始めた。十人が二十人に歩くと夢が伝わり、若い輪は広がり百人となった。我等百人が全国同志千五百人を集めるものは何だろう。私達が持っているものを、ささえられているものを旗印にして呼びかける。「活かせ英知、若さで築こう地域の経済」全国行脚をしてわかった各地の青年部会員が互いに静かに振りかえれば、今日と云う日が心のスクリーンに写され、長い旅は終る。大切な思い出しよう。

二年前に旅に出た青年がいた。それは約二カ年を要し行先はまだ形はないフェニックスプラザであった。目的地、層確認しあう大会が良い。



昨年九月に発足して四年目の当青年部が主旨し実施した「東北・北海道ブロック運営研究会」が北海道で終了出来たことは、公私共に御多用中ご出席いただきました。来賓の方々、そして遠路、ご来賓の御激励下さいました。商青連の安部代表幹事は、この大会を機に、東北・北海道ブロックの青年部の皆様に御支援をいただき、そして盛り上げていただいた結果だと深く感謝を申し上げます。

この大会を引き受けるに当り、めとする幹部の皆様、更には全国大会の開催地でありました福井商議所青年部の方々の多数ご参加いただきました。東北、北海道ブロックの青年部の皆様に御支援をいただき、そして盛り上げていただいた結果だと深く感謝を申し上げます。

東北・北海道ブロック運営研究会を終って

一関商工会議所青年部部長 千葉

引受けました。開催の決定以来、部員はこの大会が一閃らしさをいかに出せるかいろいろ話し合いを勉強もしました。運営の方にはいろいろな型があろうかと思いますが、我々が果たしたいポイントは、青年部の発足が各地とも聞もなければそれだけ運営には暗中模索がある

でございませう、ということから各青年部からアンケートを取り活動状況を聞き、その中から各青年部に発表してもらいそれを各青年部の運営の参考にしようことにした。発表の他にも独特の活動をしてる青年部もあり、我々としては大変参考になりました。その

第5回 関東ブロック 鎌倉大会を開催して

鎌倉商工会議所 青年部代表理事 中島宣夫

「活かせ英知、若さで築こう地域の経済」のスローガンのもと、第五回関東ブロック商工会議所青年部鎌倉大会が

関東各地の会員四百余名を集め盛大に開催されました。大会開催に際しては、会場等の問題点がいくつありましたが、幕を開けてみると何ら支障もなくスムーズにプログラムを終了することができました。会員二十名を越える当青年部としては、一九となった事業に取り組みということではなかなかむずかしいことではありましたが、準備段階から振り返って見ますと、大会完遂に当たっては全員参加の目標が達成できたと思えます。又、当日来賓としてご出席いただいた方々に「会議所青年部」を深く認識していただけたことは、大変重要なこ

私自身、商工会議所の歴史、地域経済活性化のための青年部の役割、そして青年部の必要性を改めて考えてみました。自らの企業発展と企業存続の研鑽を積み重ねる場が青年部であり、こうした研鑽は幅広い相互交流と連帯を図ることによって、更にもの確信しています。



青年部の運営方法と問題点を討議

四国ブロック・高松商議所青年部 平木克典

六十年九月八日、第二回四国ブロック商工会議所青年部運営研究会を香川県高松市において開催いたしましたところ、約四百四十名という多数の参加をいただき無事盛大に終了できましたことは、日本商工会議所をはじめ関係各位の皆様方、そして四国ブロックの商工会議所青年部会員の深

いご理解と強い協力の賜物だと心より感謝をいたしております。思っておこせば五十九年十一月、愛媛県八幡浜市で開催されました第一回四国ブロック商工会議所青年部運営研究会で、次期開催を任せられましたから準備に取り組んだわけ

第3回東海・近畿ブロック運営研究会を主管して

和歌山県 紀州有田商工会議所・青年部

第三回近畿東海ブロック大会開催にあたり近畿東海の各地方より、ご参加賜わり盛大に開催できましたことを心より御礼申し上げます。

分科会テーマは五ヶ年計画について

わが青年部は、年齢制限が三十五才、又会員数も四十八人と規模の小さい青年部であり、活動についても、会員個々の



「活かせ英 徹知若さで築こう地域の経済」をテーマに 若さで築こう地域の経済」をテーマに

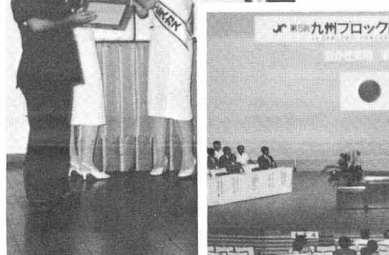
第5回九州ブロック研究会

「活かせ英 徹知若さで築こう地域の経済」をテーマに

「活かせ英 徹知若さで築こう地域の経済」をテーマに

「活かせ英 徹知若さで築こう地域の経済」をテーマに

「活かせ英 徹知若さで築こう地域の経済」をテーマに

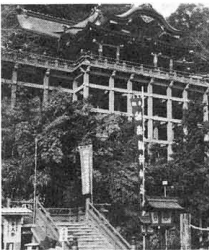


九州ブロック商工連営研究会

61年度ブロック運営研究会だより

東北・北海道ブロック 大館商議所青年部々長 伊藤 健

六十一年度東北、北海道ブロック商工会議所青年部連営研究会を当地で開催出来たことに感謝を申し上げます。



このような経済情勢の中で、先端技術産業の革新、消費者ニーズ等々の変化、更に情報の多様化など目まぐるしい時

関東ブロック 上尾商議所青年部々長 神田博一

「商工会議所、若さでつくる新時代」昭和六十一年度ブロック運営研究会の統一テーマも決定して身のひきしまる思いをしております。

北信越ブロック 暖かい人情と歴史の街輪島商議所青年部

輪島は本州の中央部能登半島の北端に位置し、背後には丘陵を背負い眼前には日本海の荒波を望む港町。

東海・近畿ブロック

春日井商議所青年部々々 水野直樹

ブロック別運営研究会の考... 春日井市は人口... 古屋市のベッタタウンとして...

中国ブロック

松江城で象徴される松江商議所青年部

夕陽がひとさわ美しい宍道... 松江市総合文化センターを予定... 国内では数少ないパイプオル...

四国ブロック『心はいつも太平洋ぜよ』

高知商議所青年部理事 宮地彌典



坂本龍馬

坂本龍馬生誕百五十年が過ぎ... 四国の中小工商业者の現状... 第三回を迎える運営研究会...

九州ブロック

鹿島商議所青年部

佐賀県の西南部、多良岳の... 現在では、人口三万五千の第... 鹿島商議所の活動...

の分、定年三十五才の若い青年部員が是非、参加された皆様... 幸い本市は、交通の便は...

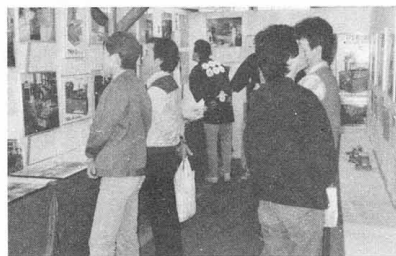
青年経営者として、考え、取り組まなければならないこと... 中国ブロックでは、地域に...

良くない環境を悲しみなげくのではなく、青年の力で時代に対応した商工業をつくり... 第三回を迎える運営研究会...

厳しい状況にあります。このような時期に運営研究会を当地鹿島で主管すること... 市内には、日本三大稲荷の...

地域経済の主役

活動する青年部 各地にみる活動事例



史跡と文化財の眠る 松代を発展させるために

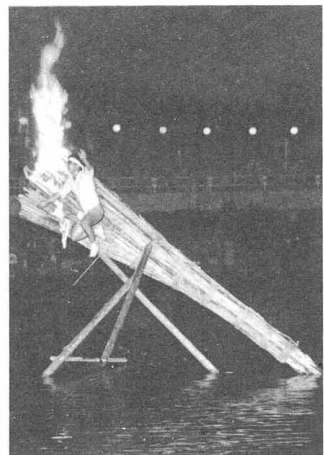
代部 松青年

史跡巡り観光ビデオ製作... 松代を発展させるために、全国の青年部に配布したいとの意見もあり...

本市は、六郷満山の文化を今もなお継承している土地柄... 松代史跡巡りハイキングレースを開催... 松代史跡巡りハイキングレースを開催...

『ギネスブックに挑戦』 世界1の松明づくり 豊後高田商議所青年部会

命の何十倍も永続するもの... 私達の仕事は、その中の短い一時期にすぎない... 松明づくりの挑戦...



世界1の松明に挑戦。直径2メートル、長さ10メートルの松明。

- ▽春祭りミュージックフェスティバル (1,500,000円)
▽地区対抗縄飛大会 (1,000,000円)
▽子供みこしフェスティバル (500,000円)
▽ふるさとスケッチ大会年賀葉書 (100,000円)
▽夏休み子ども工作教室 (100,000円)
▽夏休み後のほり教室 (200,000円)
▽夏休み豊後だこ教室 (200,000円)
▽み仏の里パンフレット (100,000円)
▽部会報 (200,000円)

街に新しい名物登場……阿波池田青年部

イベントで活性化「OURいけだへそ祭り」

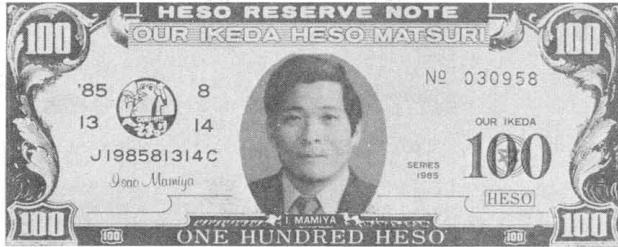
昭和六十年年度当青年部は五十六年の創立以来、これまで、十七年の創立以来、これまで、簿記、販売士等各種講習会、講演会を開催してまいりました。また、対外事業として五十八年度は、観光ガイドブック「四国へのその町あわいけだ」を発行いたしました。そして、昨年は「第一回OUR(あわ)いけだへそ祭り」を催すことができました。池田町は、徳島県西部では唯一「観光あわ踊り」が開催され、毎年八月十四、十五、十六の三日間で五万人程の出入りがありますが、ここ数年来踊りに参加する連(グループ)の減少とマンネリ化の為一時期程のにぎわいは見られなくなりつつあります。また池田町は盆と正月には人口が増えるという、典型的な田舎の過疎の町でもあるのです。出入り一番多く望める八月に「あわ踊り」の三日間しか外出機会、

参加者は2万人!!町人口とほぼ同数の人出

外出先を我々商工業者が用意していないということは、帰省客にしてみればつまらないであろうし、我々にとっては、せつたかのチャンスのみならず逃しているのではないかと、何か新しいイベントが必要なのではないかと、日々考えておりました。池田町を中心に活動しております阿波池田青年会議所(JCC)も同様に地域の活性化の一つの手段として「秋祭り」の復活、新しい祭りの創造」に取り組みしようとしていることを知り協議の結果、両団体協力による実行委員会が組織され「OURいけだへそ祭り」のスタートがきられたのです。会場には、町の中心に位置する「日本たばこ産業池田工場」をお借りすることになりました。池田町はかつて阿波葉の刻みたばこで財を成した町でもあり、専売制度に移管された後も、町を代表する産業でもある工場で開催されることは、新しい祭りのスタートの地としてふさわしい所となりました。日程も「池田町

祭りと阿波」をもじり「OURいけだへそ祭り」と命名しました。こうして昭和六十年夏、池田町に新しい名物が誕生したのである。何から何まで手探り状態の中、真夏の二日間に二万人以上もの人が出たこと、これは池田町の全人口とほぼ同数であり、また、動員目標の倍の人出でもありました。この祭りの目玉となつた「へそ踊り」大きな笠をかぶり、おなかに顔を書いたユーモラスな踊り)をはじめ、かき氷や金魚すくい等三十余りの店が並ぶ「へそ横丁」、たばこ踊り、しし舞の郷土芸能、プロ歌手をまじえてのカラオケ歌唱ショー、そして、オーブニングパレードには、約二十年ぶりに「だんじり」も登場し初めて見る子供達も少なくなく、見物客には大いに楽しんでいただきました。また、期間中会場内の通貨として発行した「へそ紙幣」(百へそ=100円)は、もの珍しさも手つづつた、たいへん喜んでいただきました。この祭りを継続事業として、ますます発展させることが、今後の我々の使命ではないかと考えております。

会場には、町の中心に位置する「日本たばこ産業池田工場」をお借りすることになりました。池田町はかつて阿波葉の刻みたばこで財を成した町でもあり、専売制度に移管された後も、町を代表する産業でもある工場で開催されることは、新しい祭りのスタートの地としてふさわしい所となりました。日程も「池田町



祭りと阿波」をもじり「OURいけだへそ祭り」と命名しました。こうして昭和六十年夏、池田町に新しい名物が誕生したのである。何から何まで手探り状態の中、真夏の二日間に二万人以上もの人が出たこと、これは池田町の全人口とほぼ同数であり、また、動員目標の倍の人出でもありました。この祭りの目玉となつた「へそ踊り」大きな笠をかぶり、おなかに顔を書いたユーモラスな踊り)をはじめ、かき氷や金魚すくい等三十余りの店が並ぶ「へそ横丁」、たばこ踊り、しし舞の郷土芸能、プロ歌手をまじえてのカラオケ歌唱ショー、そして、オーブニングパレードには、約二十年ぶりに「だんじり」も登場し初めて見る子供達も少なくなく、見物客には大いに楽しんでいただきました。また、期間中会場内の通貨として発行した「へそ紙幣」(百へそ=100円)は、もの珍しさも手つづつた、たいへん喜んでいただきました。この祭りを継続事業として、ますます発展させることが、今後の我々の使命ではないかと考えております。

我が築後市は「これ」といって特長のない町です。しかし、今までに見てこなかった中にもよくあると面白くないものもいくつかあります。郷土の産業を見直す必要があるのでは。このテーマをもとに地域産業委員会が三年間検討、審議を重ねてきました。各委員会が時には意見の対立で深夜まで議論が続きました。そして結論に達したのが、今盛んに言われている「村おこし」の願いを込

建設市商議所 田所 悠紀 青年部々々会長 田所 悠紀 田所 悠紀 田所 悠紀

祭りと阿波」をもじり「OURいけだへそ祭り」と命名しました。こうして昭和六十年夏、池田町に新しい名物が誕生したのである。何から何まで手探り状態の中、真夏の二日間に二万人以上もの人が出たこと、これは池田町の全人口とほぼ同数であり、また、動員目標の倍の人出でもありました。この祭りの目玉となつた「へそ踊り」大きな笠をかぶり、おなかに顔を書いたユーモラスな踊り)をはじめ、かき氷や金魚すくい等三十余りの店が並ぶ「へそ横丁」、たばこ踊り、しし舞の郷土芸能、プロ歌手をまじえてのカラオケ歌唱ショー、そして、オーブニングパレードには、約二十年ぶりに「だんじり」も登場し初めて見る子供達も少なくなく、見物客には大いに楽しんでいただきました。また、期間中会場内の通貨として発行した「へそ紙幣」(百へそ=100円)は、もの珍しさも手つづつた、たいへん喜んでいただきました。この祭りを継続事業として、ますます発展させることが、今後の我々の使命ではないかと考えております。

祭りと阿波」をもじり「OURいけだへそ祭り」と命名しました。こうして昭和六十年夏、池田町に新しい名物が誕生したのである。何から何まで手探り状態の中、真夏の二日間に二万人以上もの人が出たこと、これは池田町の全人口とほぼ同数であり、また、動員目標の倍の人出でもありました。この祭りの目玉となつた「へそ踊り」大きな笠をかぶり、おなかに顔を書いたユーモラスな踊り)をはじめ、かき氷や金魚すくい等三十余りの店が並ぶ「へそ横丁」、たばこ踊り、しし舞の郷土芸能、プロ歌手をまじえてのカラオケ歌唱ショー、そして、オーブニングパレードには、約二十年ぶりに「だんじり」も登場し初めて見る子供達も少なくなく、見物客には大いに楽しんでいただきました。また、期間中会場内の通貨として発行した「へそ紙幣」(百へそ=100円)は、もの珍しさも手つづつた、たいへん喜んでいただきました。この祭りを継続事業として、ますます発展させることが、今後の我々の使命ではないかと考えております。

その発足に時日をおかない沖繩と大村に、さらに強い絆の結びつきを求めた声があつて相互に交流を重ねた結果、沖繩と長崎の歴史上のつながりや現在の国際化をめざす状況等に鑑み、両青年部がより具体的に連携しようという目的で姉妹関係を結ぶことになりました。ちなみに締結の内容は、次の通りとなっております。

大村 沖繩

沖繩県沖繩商工会議所青年部と長崎県大村商工会議所青年部は昭和五十八年七月二十一日に全国商工会議所青年部連合会の中において、始めて姉妹関係を大村商工会議所と沖繩県沖繩商工会議所とが締結した。これは今日成熟した文明社会の中で、ややもすれば稀薄になつてきた人間関係を見直し、共通の課題を持つ商工会議所青年部同志が、とりわけ同じ九州ブロック内に籍をおき、

姉妹青年部提携

- ◆大村~◆沖繩 ◆高岡~◆関

昭和五十九年九月十七日開 商工会議所において総勢百名以上の参加者を得て、姉妹部

皆々燃えました。今まで培ってきたものが大きな形となりました。そして私達は「感謝の心」と「団結の尊さ」を身をもって学ぶことができました。さて今年には会発足五周年を迎えます。すでに新年度の役員も決まり新たな飛躍を期して見たいと思います。高岡の産業構造の中で大きなウエイトを占めている産業に、鉄器、アルミ、銅器、漆器という、いわゆる伝統産業と言われる実用品や美術工芸品を生産し順調に推移してまいりました。しかし昨今の経済情勢下では今までと同じや



この姉妹部会の締結にあたり高岡にとってよかつたこと確信しております。

高岡 関

物部の街間は、当市と同じ問題があります。同じ悩みは一人よりも二人、ましてや兄弟の仲であればもっと親密により迅速に問題の解決に対処できるとお互いに確信した次第です。折しも高速交通網の経済に及ぼす影響は計り知れないものがありますが、我が富山県と関の岐阜県(終点愛知)の運々として進まぬ現状に一刻も早く実現に向う様誓ひ合いそれが姉妹部会の締結に至ったいきさつです。我々青年部員一人一人に課せられた義務は、自分が色々の行動の基盤になり青年部の活動の原点だと思ひます。

樹し大村側からは、長崎の天然記念物である大村桜を沖繩へ植樹しています。その後青年部は、それらの絆を更に深めるべく、あらゆる交流を行なっています。例を申し上げますと、それぞれの方の街の祭を盛り上げる為に双方が参加しあつて協力したり、それぞれが地域の特産品を注文したり、また個人的には同業者の情報交換を行ない自分の方の企業に反映する努力も行なっております。そして今年には両組織の発展、ひいては企業発展につながる努力を続けて参りたいと考えております。我々両青年部は、全国にさががけて縁組を結んだ事に誇りを持ち、これから結ばれるであろう各青年部の目標となるような友好的関係と、優れた組織の青年部たらんことを目指します。

新年度商青連役員の横顔

全国商工会議所青年部連合会は昨年十一月九日、福井市で第三回会員総会を開き、六十一年度の新役員を選任しました。

連合会は五十八年四月に「全国の商工会議所青年部の交流と提携をはかり、もってその健全な発展を期し、商工会議所の組織の強化に寄与」を目的に設立され、現在、一六一商工会議所青年部が加入している全国組織です。

事業活動の主な内容は、①会員相互の親睦と連携、②日本商工会議所会頭の意見の申上及び必要に応じて関係方面への建議、陳情、③青年経営者としての経営上の諸問題に関する調査研究及び研修会等の開催、④青年部経営に関する情報・資料の収集及び提供など。

六十一年の代表幹事、副代表幹事、幹事、監事、相談役は次の皆さん。

(注)①ブロック②所属青年部③会社名・役職④業態

六十一年度の商青連役員にこのほど選任されました。会員皆様の格別なご指導、ご支援をお願いいたします。

代表幹事



- 中山昌男
- ①北信越ブロック
 - ②富山青年部
 - ③渋谷建設工業(株) 専務取締役
 - ④一般土木・道路舗装



- 奥田利明
- ①関東ブロック
 - ②土浦青年部
 - ③榊中常副社長
 - ④建築資材卸売

副代表幹事



- 奥田利明
- ①北海道ブロック
 - ②浦河青年部
 - ③奥田商事(株)常務取締役
 - ④食料品、酒類卸売



- 秋原幸昭
- ①東北ブロック
 - ②原町青年部
 - ③萩原屋根建材(株) 社長
 - ④建築資材



- 池 潤 功 二
- ①中国ブロック
 - ②松江青年部
 - ③有松江自動車用品商會社 社長
 - ④自動車部品販売



- 宮 地 彌 典
- ①四国ブロック
 - ②高知青年部
 - ③宮地電機(株)
 - ④電気設備資材販売



- 黒 田 勝 昭
- ①九州ブロック
 - ②大村青年部
 - ③榊黒田板金工業 代表取締役
 - ④建築板金工事

幹事



- 横 尾 逸 郎
- ①北海道ブロック
 - ②登別青年部
 - ③花善生花店 店主
 - ④生花小売



- 菅 原 周 二
- ①東海ブロック
 - ②関青年部
 - ③河上薬品商事(株) 代表取締役
 - ④医薬品販売



- 千 葉 幸 七
- ①東北ブロック
 - ②一関青年部
 - ③一関Sデパート 千葉久 店長
 - ④百貨店



- 下 平 憲 一
- ①北信越ブロック
 - ②塩尻青年商工会
 - ③南三協設備
 - ④代表取締役専務
 - ⑤下水道工事



- 野 澤 良 一
- ①北信越ブロック
 - ②燕青年部
 - ③のぞわ雨具
 - ④雨具等製造販売



- 神 田 博 一
- ①関東ブロック
 - ②上尾青年部
 - ③榊上尾グリーン ガーデン 代表取締役
 - ④観葉植物



- 木 内 修 二
- ①関東ブロック
 - ②市川青年部
 - ③榊きのうち 代表取締役
 - ④婦人服小売



- 竹 林 武 一
- ①東海ブロック
 - ②津 青年部
 - ③三重トヨタ自動車(株) 代表取締役社長
 - ④自動車販売修理



- 村 田 清 司
- ①近畿ブロック
 - ②北大阪青年部
 - ③榊村田新聞舗 代表取締役
 - ④新聞販売



- 今 井 陸 雄
- ①中国ブロック
 - ②鳥取青年部
 - ③大山証券(株) 専務取締役
 - ④証券業



- 馬 宮 功
- ①四国ブロック
 - ②阿波池田青年部
 - ③三芳菊酒造(株) 常務取締役
 - ④清酒製造



- 花 城 清 友
- ①九州ブロック
 - ②沖繩青年部
 - ③沖繩配送ヤンマー(有) 代表取締役
 - ④貨物取扱



- 池 増 徹
- ①九州ブロック
 - ②指宿青年部
 - ③九重建設(株) 代表取締役社長
 - ④建設、不動産



- 日 野 茂
- ①関東ブロック
 - ②桐生青年部
 - ③榊三ツ葉電機製作所 資材部長
 - ④自動車電製品製造販売



- 大 楠 隆
- ①九州ブロック
 - ②甘木青年部
 - ③榊大楠産業 代表取締役
 - ④建設、不動産



- 中 田 高 運
- ①北信越ブロック
 - ②富山青年部
 - ③榊中田木工製作所 代表取締役
 - ④家具製造販売



- 竹 中 勝 治
- ①北信越ブロック
 - ②高岡青年部
 - ③榊竹中製作所 常務取締役
 - ④銅器製造販売



- 曾 我 隆 一
- ①関東ブロック
 - ②前橋青年部
 - ③曾我製粉(株) 代表取締役
 - ④小麦粉製造



- 深 谷 邦 夫
- ①関東ブロック
 - ②水戸青年部
 - ③日工商事(有) 代表取締役
 - ④造園、土木建設



- 清 水 慶 造
- ①近畿ブロック
 - ②福井青年部
 - ③紅 久(株) 取締役専務
 - ④呉服卸



- 菅 謹 一 郎
- ①九州ブロック
 - ②竹田青年部
 - ③榊岩城屋 代表取締役
 - ④ホテル、旅館

相談役



- 安 部 谷 次 郎
- ①九州ブロック
 - ②豊後高田青年部
 - ③安部石油(株) 代表取締役
 - ④石油類小売

月刊「石垣」にご寄稿を

日商の広報雑誌「石垣」に青年部関係記事を寄稿ください。テーマは自由、字数は千二百字以内。詳しくは商青連事務局(☎〇三三〇一七八四八)にお尋ねください。

編集後記

広報委員長・水野(春日井)

ネーミング募集！
広報委員会の当初の目的のひとつでありました会報がようやく、発行のはじとなりました。また、今回は創刊号の一段階のものとして六十一年度の活動報告的な内容となっております。そこで、会報名もまずは無難な「商青連だより」とさせていただきます。したが、次回は正式なネーミングを募集し創刊号として発行される予定です。今後本誌が青年部活動情報だけに留まらず全国のあらゆる経済状況、特産品、観光、宿泊施設等あらゆる内容の情報紙として完成され、一年に二度ぐらい発行されるようになることを期待いたします。

最後になりましたが、今回の編集にあたり原稿をお寄せ頂きました方々に心より感謝申し上げます。また編集期限の関係上、原稿をきながらもやむなく掲載できなかった記事もごさいいます。ここに深くお詫び申し上げます。